

千葉菌類談話会通信 26 号 目次

韓国松茸山顛末記	今野 英山	4
ツキヨタケの DNA 鑑別法の開発	鶴田 小百合	7
ミヤマタマゴタケを食す	かしわぎ ゆみこ	10
房総きのこ今昔	吹春 公子	12
医者が処方した『笑い茸』	吹春 公子	13
齋藤仁さんを偲んで		
来世でも・・・	小島 祥子	14
齋藤仁さんの思い出	大嶋 正純	14
齋藤さんのこと	吹春 俊光	15
未だに見つけられないキノガサタケ	宮林 八男	17
きのこ採り今昔	高橋 勝雄	18
風雪のきのこ採り	高橋 勝雄	19
「きのこの下には死体が眠る!？」との出会い	山本 充弘	20
きのこ・かび 関連図書の紹介	吹春 俊光	23
2009 年度行事報告	吉田悦子、吹春公子	28
きのこ歳時記 7 ―近代の短歌より―	今野 英山	34

表紙に寄せて

ヒョウモンウラボニガサ

ヒョウモン、と名の付くこのきのこは、まるで童話に登場するようなきのこです。ベニテングタケにも似て非なるものがありますが、こちらは雨のしずくでシミ抜きされたような見事な水玉です。何かをアピールするためにある模様なのでしょうけど、我々きのこハンターの心を踊らせる為だけではないはず？ 自然が織り成す作用は不思議でいっぱいですね。

(近藤 綾子)